

令和7年度 後期3年の課程(春季)	志望講座	国際政治経済論
-------------------	------	---------

以下の課題1、2、3、4から1題を選んで日本語で答えなさい（どの課題を選択したかを明記すること）。分量は、A4用紙3枚以内を目安とする。

課題1

2024年11月、プラスチックによる環境汚染の防止を目的とした初めての国際条約の合意を目指す政府間交渉委員会において、プラスチック生産量の世界的な削減目標を設ける素案が示されたが合意に至っていない。プラスチック生産量を削減するためには、再生プラスチックやバイオプラスチックなどの活用が重要であるが、これらのプラスチックの普及を妨げる要因を、政策的、経済的、技術的な側面から論じなさい。

課題2

1970年代後半に、沖縄返還や日中国交正常化など、日本をめぐる大きな国際政治上の変化が発生した。これらの展開は、1960年代終わりごろから明らかになる、デタントをはじめとする国際政治の大きな変動といかなる関係を持っているか。アメリカや中華人民共和国だけでなく、できるだけ多くの国々の動向を踏まえながら議論しなさい。

課題3

2015年にゴミ処理場が建設された、ある地域についてゴミ処理場の建設が周辺地域の地価に与えた影響を分析したい。現在、2010年と2020年それぞれの時点における周辺地域の地価についてデータが得られている。次の設問に答えなさい。

3-1. この影響を調べるための方法として、どのような分析方法が考えられるか。理由と合わせて答えなさい。

3-2. 3-1. で答えた分析方法を用いるために、どのようなデータを追加的に収集するべきか、述べなさい。

課題4

パブリック・ディプロマシー（公共外交・文化外交）を主眼とする国家の政策や制度が展開・整備される一方で、国際NGOや多国籍企業などの民間組織や、SNSや生成AIなどの発達により情報の越境移動も活発化し、市民が担い手となる民間外交も発展してきている。しかし国家のパブリック・ディプロマシーと民間外交の方針が一致しないこともある。それぞれ具体例を挙げ、その齟齬の内容と、両者の相互作用を説明しなさい。